

調布の

# 清掃作業員さんに聞きました

## ごみ対策課業務係指導班にインタビュー



調布市の家庭や事業所から日々排出されるごみ。今回は正しい排出方法の指導や、不法投棄・持ち去りなどのパトロールを行っている指導班に、毎日どのような仕事を行っているのか聞いてみました！

今回はごみ対策課の小川班長（写真右下）と土方主任（写真左下）にインタビューしました！土方主任は（意外にも）大の甘党で、甘い物なら何でも好き。小川班長はお酒に目がないそうですよ。それでは早速聞いてみましょう！



Q1

普段、どのような仕事をしていますか。

市内のごみや資源物が適切に排出・収集されるように日々現場に出ています。具体的には、ごみが適切に出せていない集合住宅や事業所の方々に、正しい分別・排出方法をお伝えしたり、不法投棄や資源物の持ち去りが見受けられる地域のパトロールなどを行っています。

Q2

「排出方法の指導」とはどんなこと？

主に集合住宅から出るごみ袋で、イエローカード（分別が不適切でごみが収集されない場合などに用いるシール）が貼られて、長い間放置されるケースがしばしばあります。そのような状態は不衛生で周辺地域の迷惑にもなってしまうため、物件の所有者や管理者に連絡し、正しい分別・排出をお願いしています。



イエローカードが貼られたまま放置されたごみ



Q3

ごみを排出する際に、是非お願いしたいことは？

ごみは、必ず収集日当日の朝8時までに排出してください。また、鳥獣被害を防ぐため、できるだけ蓋つきのごみ箱やカラス除けネットなどを用いてください。

令和5年度版

### 調布市ごみリサイクルカレンダー 配布時期が早まります

令和5年度版の調布市ごみリサイクルカレンダーを令和5年1～2月頃に全戸配布します。

例年、2月中旬から3月中旬頃に配布をしていましたが、**今年度は配布時期が早まります**ので、捨てずに大切に保管して下さい。

令和5年度は紫色です！



※画像はイメージです。

### 三多摩は一つなり交流事業を開催しました

令和4年10月15日（土）、調布市のごみの最終処分を受け入れている日の出町民の方々（19人）をお迎えし、感染対策を行いながら3年ぶりに三多摩は一つなり交流事業を開催しました。この事業は、最終処分場のある日の出町との相互理解を深めることを目的に、平成11年度から行っており、今年で22回目を迎えました。

当日は、二ツ塚処分場とクリーンプラザふじみを見学し、深大寺を散策後、深大寺本堂において「落語」を鑑賞しました。

落語の演者は、春風亭柳好さんと桂米多朗さんのお二方で、参加された日の出町の皆さんからは大変好評をいただきました。



落語鑑賞の様子

このマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用のアプリなどを使って音声データを聞くことができます。